

学校だより

三郷市立彦糸小学校

学校教育目標

「きよく かしく たくましく」



- 仲良く助け合う子
- 進んで学ぶ子
- 元気に運動する子

令和4年3月1日発行

春の訪れとともに 成長の喜びを

校長 宮崎 正子

喜

今日から3月（弥生）、桃の花や菜の花が暖かい日差しに包まれる季節となりました。夏目漱石や正岡子規、与謝蕪村が「菜の花」を詠む俳句を作っていますが、ここでは、細見綾子さんの俳句を紹介します。

『菜の花が しあはせさうに 黄色して』

コロナ禍にあっても、子どもたちが元気よく校庭を走り回る姿を見たり、教室で静かに読書をしたりしている姿を見たりしていると、彦糸小学校にも幸せな黄色い花が満ちあふれているような気がします。

さて、2月20日に終了した北京オリンピックにおける日本選手の活躍、感動の競技の様子などの報道が次々もたらされていました。金メダルは間違いなく素晴らしいものです。でも、私たちが感動するのは、それぞれの選手の実力、困難に負けずに頑張っている姿ではないでしょうか。

スピードスケートの高木美帆さん、スノーボーダー平野歩夢さん、過去のオリンピックでメダルを期待されながら取ることができずに、数々の挫折を味わってきた選手たちです。それだけに、このオリンピックにける思いは強く、自分自身の限界まで身体を鍛え、練習を重ねてきました。だからこそ、見事に金メダルを胸にした姿が感動を生むのだと思います。

新型コロナウイルス感染防止の中での学校生活でしたが、1年生の子どもたちは、日々の生活をしっかりとこなすことができるようになりました。はつらつとした笑顔を見ると、入学当初のまだ分からないことや、できないことがたくさんあった頃の不安な顔がまるで嘘のようです。2年生、3年生、4年生も進級を控え一段と逞しい姿を見せてくれています。5年生はしっかりと上級生の姿を追いながら、自分たちの来年度の姿を思い描いているようです。

そして、3月24日には、6年生が巣立ちの日を迎えます。卒業証書授与式の晴れ姿も、苦しみ乗り越え頑張ってきたこと、粘り強く学習や運動に取り組んできたこと、友達と力を合わせて活動してきたことなど、6年間の努力があったからこそその姿です。それぞれが送ってきた6年間の積み重ねが今の子どもたちの成長につながっているのだと思うと、私たち教職員も改めて日々の教育活動を大切にしていかなければならないと、身の引き締まる思いがいたします。子どもたちとともに卒業式・修了式に向けて、令和3年度のまとめをしっかりと行ってまいります。

保護者の皆さまには、様々な場面で子どもたちを励まし支えてくださったことと思います。ありがとうございました。ご家庭でもこの1年間を振り返り、お子さんの成長を一緒に喜んでいただけたらと思います。



地域の皆さまには、子どもたちの安全、学習、環境整備などにご支援ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。新年度も子どもたち一人一人が安心して学ぶことができ、夢をもって笑顔があふれる彦糸小学校をめざしてまいります。

3月1日現在の児童数

1年生	34名	2年生	35名	3年生	22名
4年生	22名	5年生	41名	6年生	32名
あおぞら18名			合計 204名		



学校評価結果



学校評価は、自校の教育の成果を検証し、組織的・継続的にその改善を資することを目的としています。学校評価運営委員会（学校評議員、PTA本部役員等）は、学校の自己評価をもとに評価し、学校は次年度に向けて改善してまいります。裏面に掲載しましたのでご覧ください。

24000冊突破!



今年度の貸出冊数、目標の24000冊を1月末で突破しました。現在の所、24342冊となっています。読書メーターも、既に飛び出てしまいました。彦糸小の子どもたちの読書の成果があらわれていますね!



2月の様子



三郷市プレゼンテーションコンテストで6年代表児童が、彦糸小学校の読書活動について発表を行いました。学校では、クラス全員で様子を見守りました。



2月17日（木）はギリシャ給食でした。旗や横断幕で盛り上げました。



2月1日（火）、6年生で陶芸教室を行いました。先生に教わりながら、真剣に作品を仕上げていました。



1	火	全校朝会
2	水	スキルアップタイム
3	木	全校読書 通学班会議・一斉下校
4	金	全校読書 教育相談日
5	土	
6	日	
7	月	特別日課
8	火	特別日課
9	水	特別日課
10	木	特別日課
11	金	特別日課
12	土	
13	日	
14	月	スキルアップタイム
15	火	美化デー
16	水	スキルアップタイム
17	木	全校読書
18	金	彦糸タイム 給食終了
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	表彰朝会 3時間授業
23	水	学級の時間 3時間授業
24	木	卒業証書授与式 1～5年臨時休業日
25	金	学級の時間 修了式 3時間授業 6年臨時休業日
26	土	学年末休業日
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

掲載している予定等につきましては現時点のものです。今後の状況により変更となる場合もあります。大きく変更のある場合はメール配信、ならびにホームページにてお知らせしますのでご確認をお願いいたします。

令和3年度 学校評価報告書					三郷市立彦系小学校	
評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	
組織運営等の状況	教育目標		3.53	4.00	管理職が中心となって家庭・地域の実態にあわせた目標を設定し、職員一丸となった組織的に取り組んでいる。担任間で話し合いながら児童に対して指導を行っている。共通理解し、共通行動を行っている。	
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.41	4.00	行事等の反省を生かし、次年度に向けて改善している。また、改善させるポイントを絞り、各部会を中心に方策をとることができている。今年度もコロナ禍において、学校活動全般において臨機応変な対応を行ってきた。	
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.41	4.00	伝統文化(和太鼓、三味線、大正琴)を地域の方から教わっている。彦系中学校との連携を図り、合同あいさつ運動などを行っている。外国籍児童在籍が多いことを特色に、国際交流集会を行っている。	
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。	3.29	4.00	特色ある学校づくりを目指すため、高学年は伝統文化(和太鼓、三味線、大正琴)、外国籍児童が多く在籍する本学校の実態に応じてゲッスタ、エスタ、国際交流集会を行っている。外国語の掲示物や、図書館の国際理解コーナーなどを作っている。	
	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	3.76	4.00	倫理確立委員会や定期的な研修、臨時的な職業を行い、服務規律を見直す機会を作っている。倫理確立委員会の実施などで、不祥事が他人事ではなく、常に身の回りで起こっていると再確認できる場が設けられている。	
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	2.94	4.00	学校研修課題である国語について研究授業を中心に一丸となった取り組みだ。学力向上に向け振り返りチェック10を活用の上、教職員間で授業参観を行うとともに、学力向上推進委員会を中心に方策を採っている。	
授業等の状況	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.29	4.00	学力向上推進委員会を組織し、教員同士の授業参観を積極的にやっている。学力向上を目指し、授業や教員の仕方など、授業改善に取り組んでいる。加えて、1人1回の研究授業を実施している。各学年の実態に合わせた学習プリントなどを使用したり、導入と振り返りの工夫を図ったりしている。	
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.29	4.00	算数、国語など振り返りの時間を確保して、基礎的・基本的な学力が身につくようになっている。生徒指導・学級経営リーフレットを活用し、より学級経営を充実させている。算数の板書を掲示し、互いに交流することで授業改善を意識して行っている。	
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.59	4.00	「授業の心得」を学級の基盤として考え、各担任・担任外への学習における共通理解を行い、指導を行っている。加えて立腰タイムに取り組み、児童が落ち着いて学習する指導を行っている。	
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	3.59	4.00	学習前に適宜立腰タイムを取り入れることで、落ち着けた環境で学習が進められるよう取り組んでいる。ゲッスタ(放課後学習)の時間を確保し、教員が分担任として配慮の要する児童への個別対応ができている。	
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	3.71	4.00	読書月間を設けたがり、ブックトーク、読み聞かせ等の機会を設けることで、読書活動を推進している。図書館司書との協力のもと図書館の読書コーナーや掲示を充実させている。	
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	3.53	4.00	読書ウィーク、読書月間を設定し、読書活動を推進している。読書ビンゴやおすすめの本の一覧表、シール、委員会によるイベントなど興味や好きような取り組みを実施している。年間貸出冊数24000冊の目標を定め、学校が一丸となった読書に動んでいる。	
健康・体力	13	学校は、規則正しい食生活の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.18	3.30	栄養教諭等による食育指導を通じ、食事のメニューや献立の源しい問題に対してのよりよい指導を行っていきたい。加えて、保護者にも給食や食育について啓発を図る必要がある。給食委員会による献立の取り組みなど、児童がバランスの良い食事ができるように工夫している。	
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	3.59	4.00	業前運動や彦系タイム、休み時間の外遊びなど意欲的に取り組むことができるように日々指導している。コロナ対策の中で運動の日常化を図れるよう工夫した。	
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.35	4.00	昨年度の研究を基盤とし、考え、議論する道徳を各学級で実践した。授業参観では、年1回は必ず全学級が道徳の授業を公開した。	
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.41	3.66	道徳の授業だけでなく、各教科、日常の学校生活を通して、道徳的な判断、心情を育成している。学校行事等では、道徳教育の実践ができるよう事前指導、事後指導を行っている。利他の心や自主の心などを育て、それを生かす活動を各学年が行い、実践することができている。	
	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.47	4.00	教職員が児童の手本となるよう、言葉遣いを中心とした言動に気を付け、指導を続けている。	
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導している。	3.35	4.00	3～6年生の有志で結成した「あいさつ隊」を中心に、朝のあいさつ運動を行っている。小中合同あいさつ運動を実施している。「自ら進んで」あいさつができるよう、継続して指導が必要である。	
生徒指導・管理の状況	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.12	3.66	教職員の意識は、きちんとさせようとする方向に向いている。休み時間や放課後、登下校時など、目の行き届かない場面でも、自然とできるように、指導を継続していく。	
	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.53	4.00	本人のみならず家庭的にも問題を捉える児童について、全教員で分担して対応できている。毎月生徒指導・教育相談会議を行うことで、教職員で共通理解を図り、組織的に対応できている。不登校・問題行動について家庭訪問や関係機関への相談を行うことで組織的に対応している。	
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.53	4.00	教育相談日を設け、保護者と共通理解を図ったり、必要に応じてSSW、SCなどにもつなげてたりして、児童や保護者の指導にあたっている。問題行動があった児童や欠席児童の保護者への連絡を密に行い、予防的指導に力を入れている。	
	22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	3.59	4.00	児童の自己有用感を持たせるため、教職員への指導を通じ、認めあえる学級づくりをしている。およびアンケータを実施し、定期的に振り返りを行っている。「いじめ撲滅宣言」を全員が行い、全校あげていじめをしない「いじめをさせない土壌づくり」をしている。管理職と担任の素早い連携と対応で未然に防いでいる。	
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.41	3.60	災害マニュアルを各教室に掲示することで、迅速に対応できるようになっている。有事(災害を含む)の際の避難経路や避難方法について児童に指導を行い、対応できる体制をとっている。今年度は水害時のマニュアルを新たに策定した。	
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	3.59	4.00	毎月10日に安全点検を実施し、児童の安全を配慮した学校づくりを進めている。交通安全教室や避難訓練を行い、交通安全や災害対策の指導を行っている。	
家庭・地域との連携	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	3.59	4.00	学年や校務分掌ごとに掲示場所が決められ、掲示教育に力を入れている。美化デーや環境委員会の取り組みにより環境美化に取り組んでいる。児童の作品を校内に掲示したり、「もてすび清掃」を推進したりするなど、環境美化を心掛けている。	
	26	学校は、教職員が児童生徒と向き合うため、働き方改革を進めている。	3.18	3.66	学期末の成績処理等の時間確保を行っている。「ふれあいデー」については金曜日に設定し、休休日と連続して、心身を休める時間が確保できるようになっている。	
	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	3.65	3.66	ホームページでは、日常の子供たちの様子を紹介している。毎月の学校便りにおいて、教育活動の様子を紹介している。	
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	3.18	3.33	スクーリングボードや読み聞かせなど多くの地域の方に安全面や学習面で協力いただいている。また、旗振り、給食基金など保護者の方に協力いただいている。今年度は感染防止対策のため、多くの取り組みが自粛となった。	
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.24	3.66	感染防止対策のため、多くの取り組みが自粛となった。コロナ対応に向けて、マスクや消毒液など、提供に協力していただくことができた。	